広報リポーターの突撃取材！

避難した仲間で絆タワー

絆タワーを笑顔で囲む、たぐきり会メンバー

3月12日、大川目町仲小路地区のたぐきり会メンバーが、大川目の世帯数と同じ900個の松ぼっくりで、塔を完成させました。大震災当日、真っ暗な公民館に身を寄せた仲間で１カ月かけて制作。塔は「絆タワー」と命名し、手打ちそばで完成を祝いました。（小倉利之リポーター）

海保と警察が一斉捜索

岩場付近と海上から捜索する海上保安官ら

東日本大震災から１年になろうとする３月９日、八戸海上保安部と久慈警察署の職員計20人が合同で、侍浜町白前と夏井町半崎で行方不明者の一斉捜索を実施。職員は「どんな小さな物でも手がかりを見つけたい」と寒風の中、懸命に捜索していました。（梅沢政隆リポーター）

雪辱果たし 全国大会へ

三船記念館スポ少が県制覇

２月19日、盛岡市で開かれた第34回岩手県スポーツ少年団柔道大会の団体試合で、三船十段記念館柔道スポーツ少年団が２年ぶり18回目の優勝。５月５日に東京都で開かれる全国大会への出場を決めました。

試合は１チーム５人の総当たり戦。同スポ少は準決勝までの４試合を全て５－０で圧勝。昨年度敗れた大迫柔道スポーツ少年団との決勝は接戦となりましたが、２－２の内容で勝利し、雪辱を果たしました。

大宮秀太くん（小久慈小４年）は「初めての全国大会。思い切り攻めていきたいです！」と意欲。主将の佐藤大知くん（長内小５年）は「勝利のため、チームの力になりたいです！」と意気込んでいました。

（左から）伊藤義隆くん、松本温人くん、大宮秀太くん、佐藤大知くん、落合小春さん、遠山恵生さん、吉田有杜くん

卒業証書を受け取り、喜びをかみしめる廻立有希さん

1／歌声を響かせる卒業生
2／式辞で、卒業生への期待を込める後校長
3／感慨深げな表情で子どもを見つめる保護者
4／卒業記念品は、絆の文字が入ったはんてん

801人 学び舎巣立つ

各小・中学校で卒業式

３月、各小・中学校で卒業式が開かれ、小学６年生398人、中学３年生403人、計801人が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

長内中学校（後忠美校長・生徒293人）では３月14日に卒業証書授与式を実施。卒業生92人に卒業証書を手渡した後、後校長は「東日本大震災から１年。皆さんには久慈市はもちろん、日本の未来を創造するという大きな期待がかかっています。５年後、10年後を見据えて頑張ってください」と期待を込めました。

祝辞や祝い品の贈呈などに続き、在校生代表の下平龍生くん（２年）は「これからも私たちの先輩として輝き続けてください」と送辞。後輩から合唱でエールも受け、卒業生代表の石崎優貴くん（３年）は「92人の仲間との絆を胸に秘め、未来の希望に向かって歩んでいきます」と決意を述べました。

最後は出席者全員で校歌。卒業生は、ひときわ大きな歌声を響かせ、力強い足取りで学び舎を後にしました。

救命効果の大きさ熱弁

ドクターヘリ講演会

岩手県が５月から運航を開始するドクターヘリ。３月16日、防災センターでドクターヘリ講演会が開かれ、八戸市立市民病院の今明秀副院長が、すでに運航を開始している青森県での活用事例や救命効果の大きさを熱弁しました。約120人の聴講者は興味深々。救急医療の充実に期待していました。

ドクターヘリの特徴や効果を熱弁する今副院長

雪かき作業に汗を流す東高の生徒

運転再開前に環境整備

東高が駅周辺の雪かき

３月13日、久慈東高校生徒会15人が久慈駅周辺の雪かきや清掃を実施。ＪＲ八戸線の運転再開を前にし、環境整備に取り組みました。駅の利用マナー向上などを呼び掛けるポスターも美術部と合同制作。生徒会長の米澤真弓さん（２年）は「少しでも貢献できればうれしいです」と笑顔を広げていました。

まちのため防火を約束

長内保幼年消防に認定証

３月７日、久慈地区幼少年婦人防火委員会（会長・松野下冨則久慈広域連合消防長）は長内保育園幼年消防クラブに認定証を交付。畑中美登里園長は「大事なまちのため、防火の約束事を守りましょう！」と園児に呼び掛けました。

同日２団体の認定で市内の幼年消防クラブは13団体になりました。

「火遊びはしません！」と声をそろえる園児

大きな声で防火を誓う園児

絶対に火遊びしません！

畑田保幼年消防に認定証

久慈地区幼少年婦人防火委員会（会長・松野下冨則久慈広域連合消防長）は３月７日、畑田保育園幼年消防クラブに認定証を交付しました。佐々木マサ子園長は「子どもたちの意識高揚と地域の安全のため精進します」と決意。園児は「絶対に火遊びしません！」と声をそろえ、防火を誓っていました。

地域総出で節目を祝う

夏井町振興協 30 周年

夏井町振興協議会（播磨孝則会長）が設立30周年を迎え、２月26日に夏井農村環境改善センターで記念式典を開催しました。播磨会長は「今後も町民の融和と発展に努めます」と決意。山内隆文市長なども祝福と激励の言葉を送りました。式典終了後は祝賀会も開催。地域総出で節目を祝いました。

約120人が出席し、盛大に開かれた記念式典

熱唱しエールを送る布施明さん

復興の願い込めて熱唱

布施明ミニコンサート

歌手やタレントが被災地に元気を送るＮＨＫ・ＢＳプレミアムの番組「きらり！えん旅」の収録が３月７日から９日まで市内で行われました。最終日は布施明さんが勤労青少年ホームでミニコンサートを開催。復興への願いを込め、自身のヒット曲などを熱唱し、約150人に元気と感動を与えました。

きらり！えん旅　4／12(木)放送
ＮＨＫ・ＢＳプレミアムで 19 時 30 分～